2026.年度　横浜市交流委員会報告書

開催内容	2026 年度　第 2 回横浜市交流委員会
日　　時	2026 年 7 月 22 日（水）16:00～17:30
場　　所	神情協会議室
出 席 者	委員会メンバー：辻、高橋、佐伯、今井、樫野（W）、田高、渡邊（ヴァングル）、水口、笠原、大山、橘川、野口、グエン、フェン、中山副会長 横浜市経済局　：髙木、遊亀　　（W は Zoom 参加） 神情協事務局　：加藤、甲田　　（敬称略、順不同）文責：甲田

1）辻委員長からの挨拶

前委員長（高橋理事）および委員会メンバーが築いた土台を引き継ぎ、新体制として委員会をさらに盛り上げていきたい旨の挨拶があった。

2）新委員会メンバー自己紹介

新しく参加した企業（株式会社リッケイ）のグエン氏、フェン氏の自己紹介と挨拶が行われた。

3）横浜市様アナウンス

横浜市 経済局イノベーション推進課より、以下の 2 件の情報提供・案内が行われた。

（1）中東情勢に対応するための「短期特別経営支援資金」の創設

・概要： 中東情勢等による原材料価格高騰や物流停滞に対応し、資金繰りを支援する融資制度（2026 年 6 月 1 日創設）。

・対象： 中東情勢の影響で売上高や利益率が 5%以上減少した市内事業者等。

・条件： 融資限度額 8,000 万円以内、利率年 1.3%～1.6%以内。保証料助成（0.7%）あり。

（2）テクニカルショウヨコハマ 2027 「ものづくりゾーン」 出展社募集

・会期： 2027 年 2 月 3 日（水）～2 月 5 日（金）

・会場： パシフィコ横浜

・出展概要： 市内事業者向けに格安（出展料 55,000 円）で出展できる「横浜ものづくりゾーン」の募集案内。

・質疑応答：市外・県内企業や東京本社の支店等の出展条件等について質疑が行われた。

4）年度事業についての検討と報告

（1）横浜 IT フォーラムについて（テーマ決め）

・開催予定： 2026 年 11 月 12 日（木）

・会場： 横浜ビジョンセンター（201 号室：フォーラム会場 / 307 号室：交流会会場）

・報告： 事務局より、第 1 回～第 20 回までの歴代テーマ・動向・参加者数の推移について報告がなされた。

・討議・アイデア出し：
横浜市の DX 施策・取り組みに焦点を当てたテーマを検討した
「港湾・物流・海運と IT の掛け合わせ」「最先端 AI・生成 AI の進化とインパクト（工作機械・ものづくりと連携する「フィジカル AI」等）」「環境・グリーン・サステナビリティ（GREEN EXPO 2027 を見据えたテーマ）」

・結論： 本日の意見（AI・フィジカル AI、グリーン・環境等）を踏まえ、正副委員長にて最終調整・テーマ選定を行い、次回委員会にて報告することとした。

・その他： 横浜市が提供する GREEN EXPO 2027 の告知アイテム・PR 投影資料について、フォーラム内で参加者に案内できるよう対応する方針を確認した。

（2）横浜市市内施設見学会について（見学先検討）

・横浜市より提案された見学会候補 5 案（A: NTT e-City Labo、B: バンクパーク横浜、C: ボッシュ本社・ボッシュホール、D: BASEGATE 横浜関内、E: 横浜市消防本部庁舎）が提示された。

・討議の結果、各施設の詳細情報や見どころをまとめたアンケートを 8 月中旬頃に全委員へ展開し、希望順位を取りまとめて、見学先との連絡の中で決定することとした。

（3）第 14 回 委員会対抗ゴルフ選手権大会について
・日時： 2026 年 10 月 22 日（木）
・場所： 富士小山ゴルフクラブ
・申込締切： 7 月 31 日（金）まで
・当委員会は例年定員割れ（4 名未満）になる傾向があるため、単独チーム（4 名以上）で出場できるよう委員全員へ積極的な参加協力が呼びかけられた。

5）その他報告
（1）サイバーセキュリティ対策特別委員会の発足報告
・背景： 神奈川県警主導の官民合同プロジェクトへの参画に伴い、神情協内に「サイバーセキュリティ対策特別委員会」を設置（2026 年 7 月理事会承認）。
・委員長： 辻 高志 委員長（兼任）
・直近の活動： 9/25（海老名）、10/21（横浜）、11/5（川崎）開催のサイバー犯罪防止シンポジウムへの登壇対応等。

（2）40 周年記念事業（ゆめまつり）について
・開催日： 2026 年 8 月 8 日（土）
・当委員会の担当業務：
・ロボット対戦コーナーへの来場者誘導・整理券配布
・模擬店（クレープ販売）のバックオフィス・販売運営
・当日の集合時間（11:00）、ユニフォーム着用等の注意事項、委員ごとの役割分担について共有された。

（3）事務局からの報告（各種事業案内）
今後の主要事業スケジュールが共有された。

以　上